

1 4 大阪府庁の事務事業における環境負荷データ

■概 要

府庁における平成 22 (2010) 年度の事務事業に係る温室効果ガス排出量は、約 30 万 5 千トン (CO₂換算) となっています。

また、府では平成 21 年 4 月 1 日から ISO14001 の規格に準じた府独自の環境マネジメントシステムを運用し、継続的に事務事業における環境負荷の低減を図っています。

14-1 大阪府庁の事務事業に係る温室効果ガス排出量

[t-CO₂]

機関の区分	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
本 庁	5,549	5,561 [100.2]	5,555 [100.1]	5,137 [92.6]	5,322 [95.9]	5,120 [92.3]	5,424 [97.7]	6,201 [111.7]
出先機関等	132,810	134,523 [101.3]	128,426 [96.7]	122,073 [91.9]	124,627 [93.8]	118,364 [89.1]	116,234 [87.5]	121,309 [91.3]
水道部	188,638	187,301 [99.3]	187,098 [99.2]	185,462 [98.3]	187,351 [99.3]	186,534 [98.9]	181,687 [96.3]	177,254 [94.0]
計	326,997	327,386 [100.1]	321,078 [98.2]	312,673 [95.6]	317,300 [97.0]	310,018 [94.8]	303,345 [92.8]	304,764 [93.2]

※「大阪府庁エコアクションプランー地球温暖化対策大阪府庁実行計画ー」(平成17年9月策定)の対象となる事務事業による数値

※[]内の数値は、「大阪府庁エコアクションプランー地球温暖化対策大阪府庁実行計画ー」の基準年度である平成15年度実績に対する比率(%)

※排出係数は、各年度とも平成15年度当時の係数(「地球温暖化対策の推進に関する法律施行令」に規定されている方法)に統一している

※水道部は平成23年4月より大阪広域水道企業団へ移行

14-2 環境マネジメントシステムの環境目標達成状況

運用期間：平成22年4月～平成23年3月

監視・測定期間：平成22年4月～平成23年3月

環境保全項目		平成22年度			
		目標	監視・測定結果	評価結果	備考
地球温暖化の防止	温室効果ガス排出量の削減 (平成15年度実績比で平成22年度5%減)	平成21年度実績から1%削減	△0.5% (304,764 t-CO ₂)	未達成	
	水道使用量の削減 (本庁：平成16年度実績比で平成22年度11%減 出先機関等、警察本部：平成22年度実績を平成16年度実績以下に)	平成21年度使用量から1%削減	△3.2% (2,962,813 m ³)	未達成	
省資源	コピー用紙の使用抑制	両面コピー率	—	50.4%	—
		PPC用紙使用量(A4換算)	—	99,048,572枚	—
	グリーン調達 の推進	紙類	100%	99.9%	未達成
		納入印刷物	100%	99.9%	未達成
		事務用品・封筒・雑貨	100%	99.9%	未達成
		オフィス家具等	100%	100%	達成
		OA機器	100%	100%	達成
		携帯電話	100%	100%	達成
		家電製品	100%	100%	達成
		エアコンディショナー等	100%	100%	達成
		温水器等	100%	100%	達成
		照明	100%	97.6%	未達成
		自動車等	100%	100%	達成
		消火器	100%	100%	達成
		制服・作業服	100%	100%	達成
		インテリア・寝装寝具	100%	100%	達成
		作業手袋	100%	100%	達成
		その他繊維製品	100%	100%	達成
		設備	数値目標なし	実績なし	—
		防災備蓄用品	100%	100%	達成
役務	数値目標なし	179件	—		
	グリーン配送の推進	グリーン配送率100%	グリーン配送率100%	達成	
環境に配慮した 公共工事の推進	建設発生土等利用率の向上(%)	90%	90%	達成	
	再生加熱アスファルト混合物利用率の向上	100%	93%	未達成	
	再生骨材等利用率の向上(%)	100%	100%	達成	

※環境保全項目の「地球温暖化の防止」以外の目標、監視・測定結果、評価結果については、警察・府立学校は含んでいない。

※環境に配慮した公共工事の推進の監視・測定結果は速報値